

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	新川児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	56
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 新川町2丁目1番地1	敷地面積	581 ㎡
	(新川小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	新川児童クラブ、新川児童クラブ分館、新川児童クラブ増築				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成8～平成28年度	経過年数	4～24年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	451 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	133人		141人		113人		129人		指定管理(混合)		
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		7,749,316		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国 費		-			修繕料	413,235			
		県 費		-			火災保険料	22,709			
		その他		39,992			維持管理委託料	696,890			
		市費(一般財源)		22,110,078			敷地借上料	-			
	合 計			29,899,386		工事請負費	-			小 計	1,132,834
	施設外観				②運営コスト		人件費(賃金含)	24,586,825			
					光熱水費		774,069				
					その他委託料		-				
				その他運営費(事業費)		3,405,658			小 計	28,766,552	
				合 計(①+②)		29,899,386					
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	231,778 円/人				66,296 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
60,072 円/人				302 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

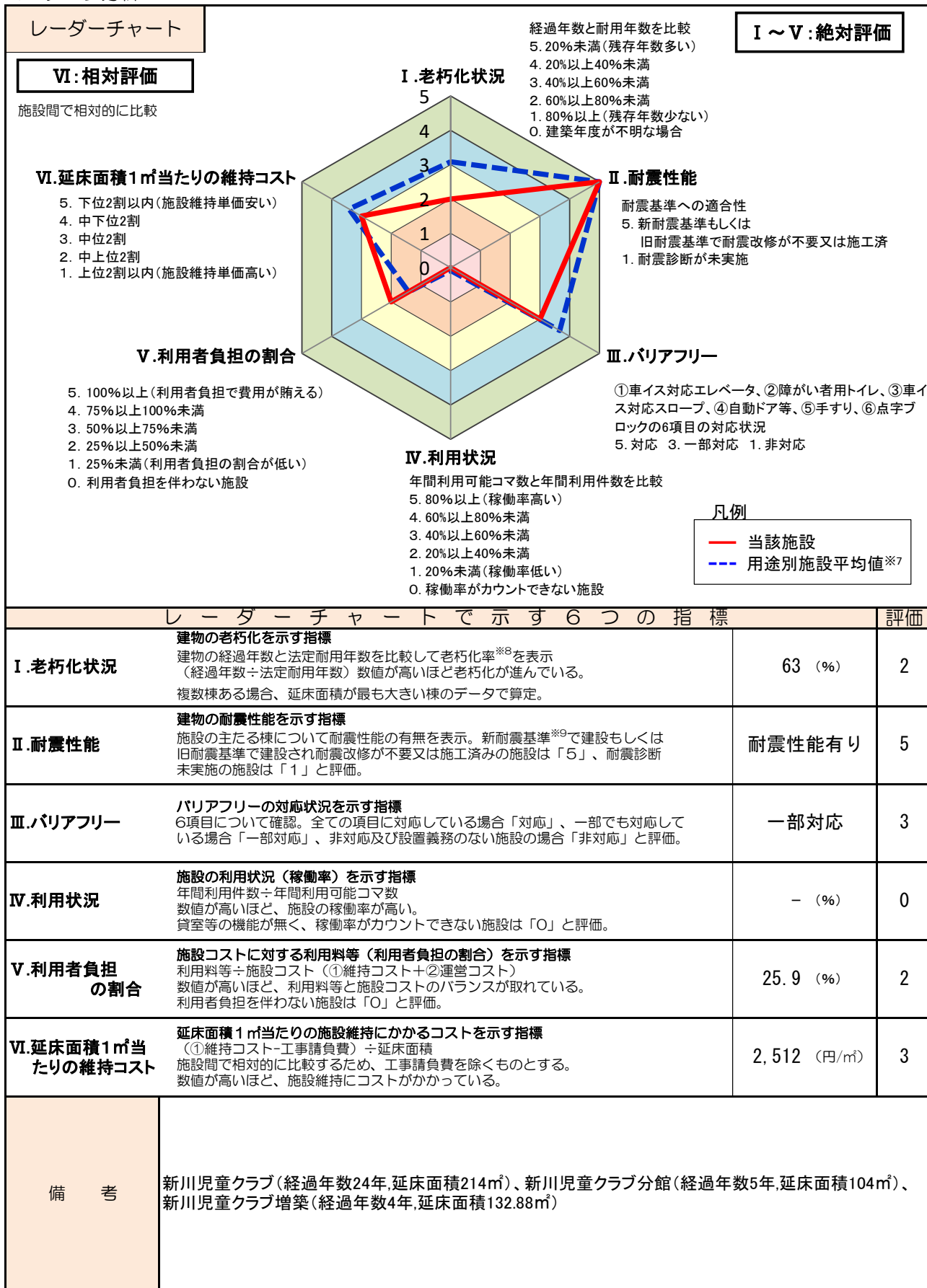
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	中央児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	57
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 向陽町3丁目19番地	敷地面積	631 ㎡
	(中央小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	中央児童クラブ、中央児童クラブ分館、中央児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成10～平成31年度	経過年数	1～22年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	354 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態			
	89人		96人		89人		91人		指定管理(混合)			
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等		4,326,199		支 出	人件費(賃金含)		-			
		国 費		-			修繕料		102,436			
		県 費		-			火災保険料		11,444			
		その他		94,966			維持管理委託料		393,580			
		市費(一般財源)		12,250,579			敷地借上料		-			
	合 計			16,671,744			工事請負費		-			
	施設外観				①維持コスト		その他維持費		-			
					②運営コスト		小 計		507,460			
					②運営コスト		人件費(賃金含)		13,743,001			
				小 計			光熱水費		433,135			
				合 計(①+②)		その他委託料		-				
						その他運営費(事業費)		1,988,148				
						小 計		16,164,284				
						合 計(①+②)		16,671,744				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	183,206 円/人				47,095 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
47,541 円/人				167 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

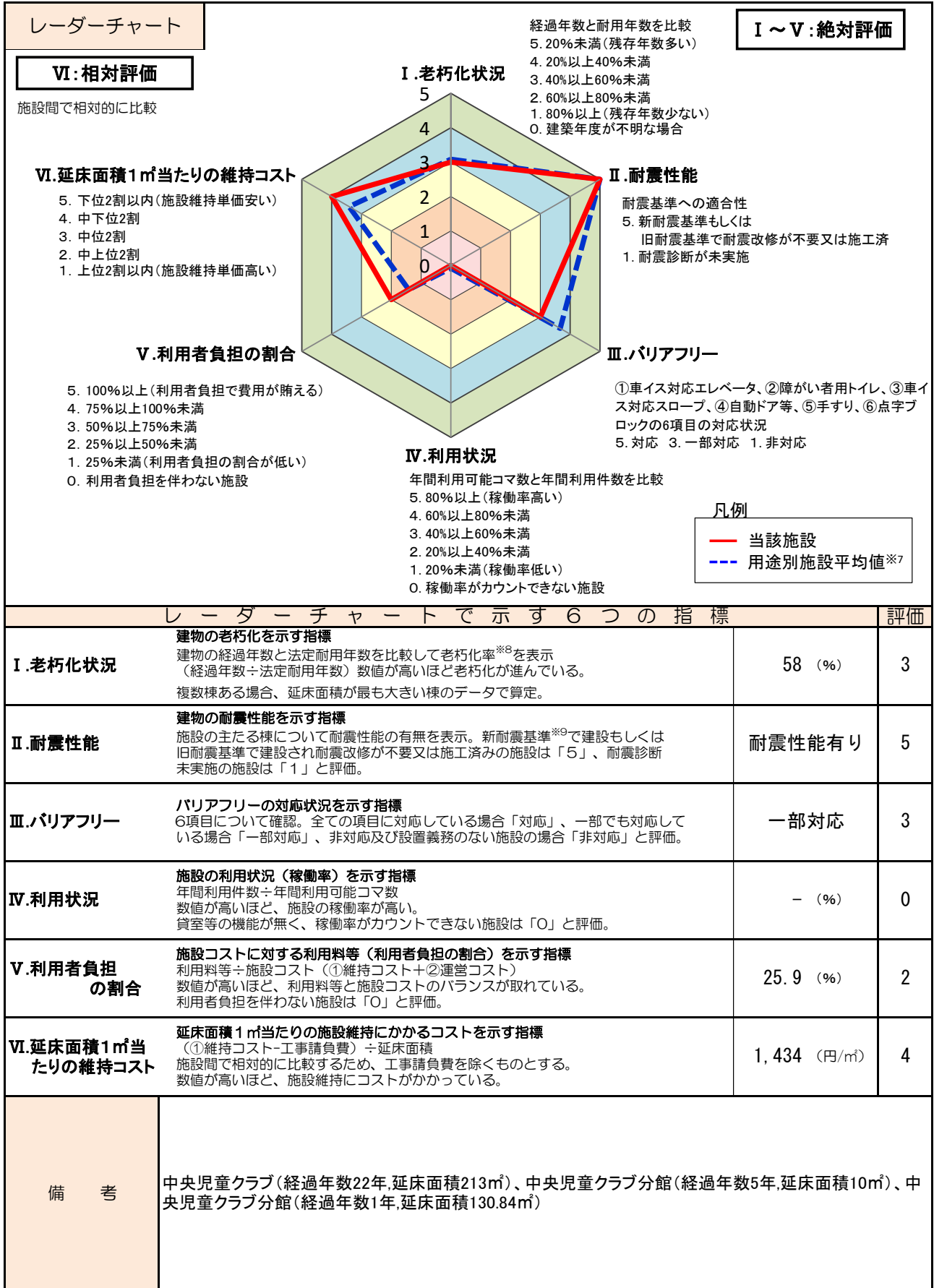
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	大浜児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	58
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 浜田町1丁目1番地	敷地面積	514 ㎡
	(大浜小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	大浜児童クラブ、大浜児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12～平成19年度	経過年数	13～20年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	217 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	78人		77人		52人		69人		指定管理(混合)		
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等	4,136,911		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-			
		国 費	-			修繕料	97,753				
		県 費	-			火災保険料	11,322				
		その他	61,935			維持管理委託料	365,355				
		市費(一般財源)	11,699,480			敷地借上料	-				
	合 計		15,898,326		工事請負費	-					
	施設外観				その他維持費	-					
					小 計	474,430					
					②運営コスト	人件費(賃金含)	13,107,117				
				光熱水費	411,410						
				その他委託料	-						
				その他運営費(事業費)	1,905,369						
				小 計	15,423,896						
				合 計(①+②)	15,898,326						
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	230,411 円/人				73,264 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
59,955 円/人				160 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

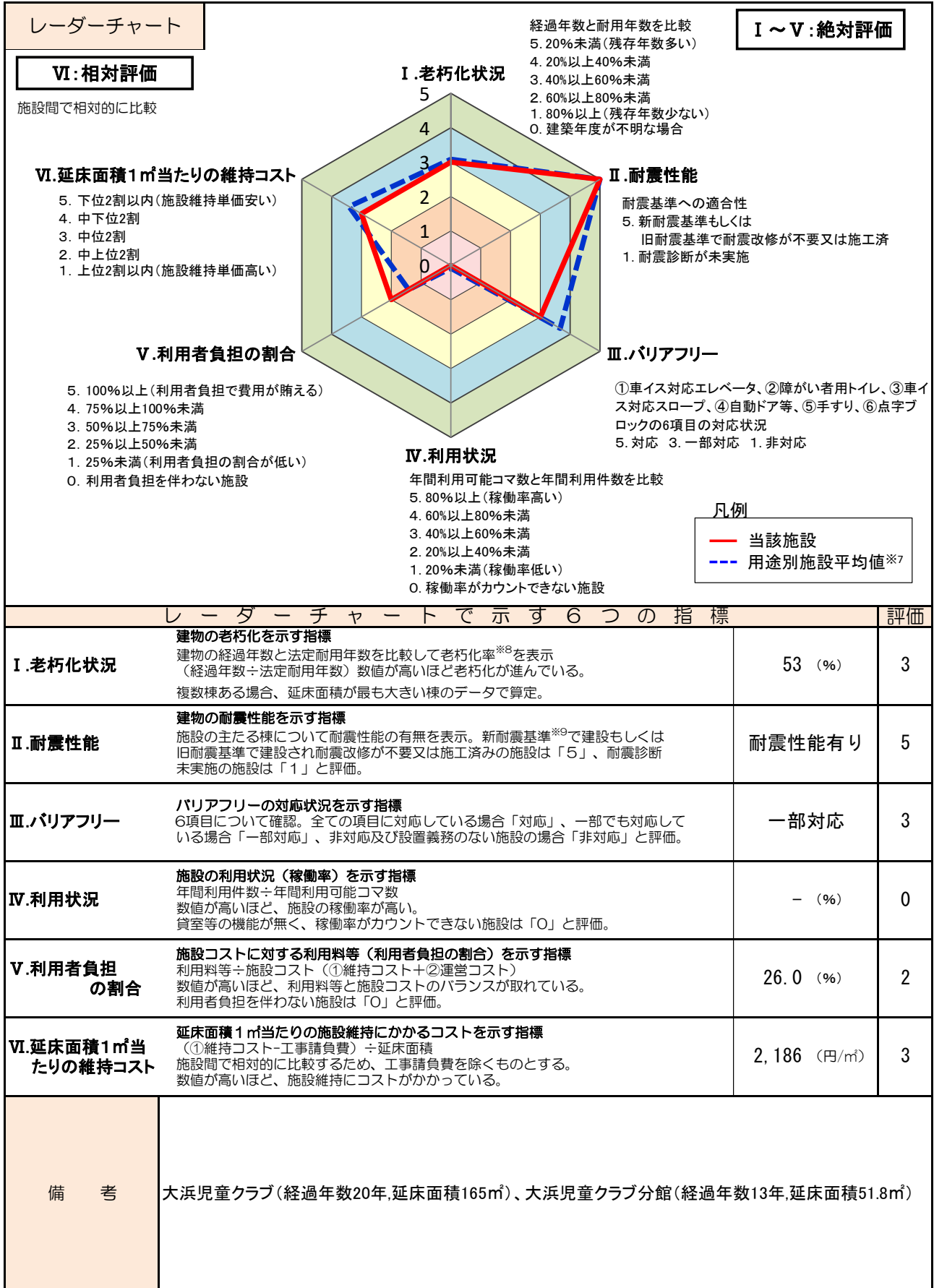
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	柵尾児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	59
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 春日町1丁目2番地	敷地面積	568 ㎡
	(柵尾小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	柵尾児童クラブ、柵尾児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和56～平成21年度	経過年数	11～39年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	368 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	109人		119人		110人		113人		指定管理(混合)		
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		6,165,529		支 出	人件費(賃金含)		-		
		国 費		-			修繕料		145,111		
		県 費		-			火災保険料		11,137		
		その他		56			維持管理委託料		291,201		
		市費(一般財源)		17,410,720			敷地借上料		273,529		
	合 計		23,576,305		工事請負費			-			
	施設外観				小 計		720,978				
					②運営コスト		人件費(賃金含)		19,554,079		
					小 計		光熱水費		620,584		
				合 計(①+②)			その他委託料		-		
						その他運営費(事業費)		2,680,664			
						小 計		22,855,327			
						合 計(①+②)		23,576,305			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	208,640 円/人				64,066 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
54,562 円/人				238 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

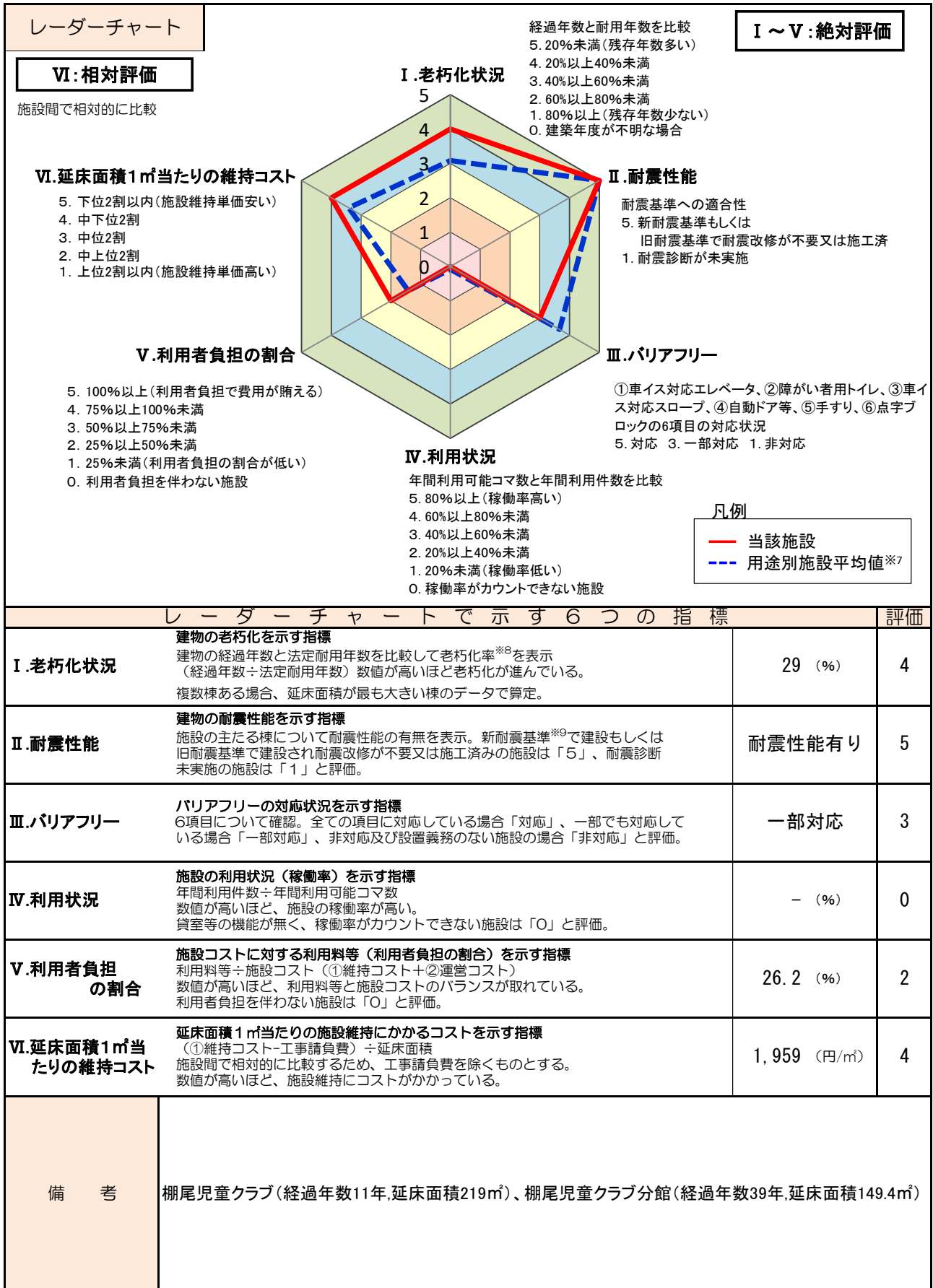
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	日進児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	60
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 日進町4丁目1番地	敷地面積	676 ㎡
	(日進小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	日進児童クラブ				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成12年度	経過年数	20年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	161 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態			
	51人		57人		48人		52人		指定管理(混合)			
施設コスト ※2 (H29~R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等	2,770,938		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-				
		国 費	-			修繕料	65,457					
		県 費	-			火災保険料	8,951					
		その他	44,666			維持管理委託料	241,547					
		市費(一般財源)	7,737,429			敷地借上料	-					
	合 計		10,553,033		工事請負費	-						
	施設外観				その他維持費	-						
					小 計	315,955						
					②運営コスト	人件費(賃金含)	8,671,180					
				光熱水費	274,667							
				その他委託料	-							
				その他運営費(事業費)	1,291,231							
				小 計	10,237,078							
				合 計(①+②)	10,553,033							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	202,943 円/人				65,547 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
53,287 円/人				106 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

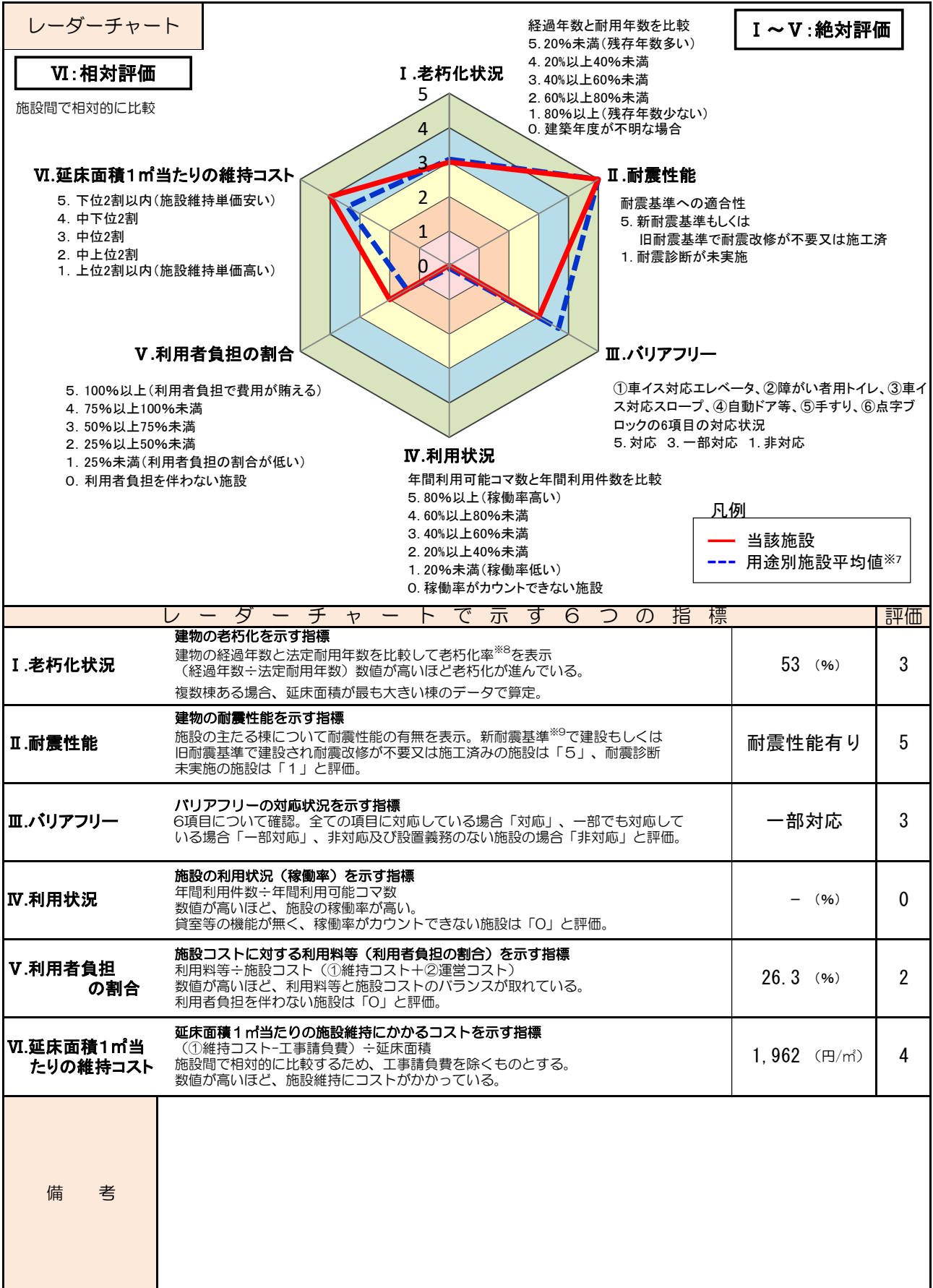
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	鷺塚児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	61
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 旭町2丁目30番地	敷地面積	837 ㎡
	(鷺塚小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	鷺塚児童クラブ(本館)、鷺塚児童クラブ(分館)				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成11～平成20年度	経過年数	12～21年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	209 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	65人		81人		60人		69人		指定管理(混合)		
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ① 維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ② 運営コスト 公共サービスを提 供するために要す る経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		3,851,183		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国費		-			修繕料	91,020			
		県費		-			火災保険料	11,682			
		その他		31,163			維持管理委託料	340,620			
		市費(一般財源)		10,973,085			敷地借上料	-			
	合 計			14,855,431		工事請負費	-				
	施設外観				小 計		443,322				
					②運営コスト 小 計 14,412,109 合 計(①+②) 14,855,431						
							12,219,711				
			383,099								
				-							
				1,809,299							
				14,412,109							
				14,855,431							
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	215,296 円/人				71,079 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
55,814 円/人				150 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

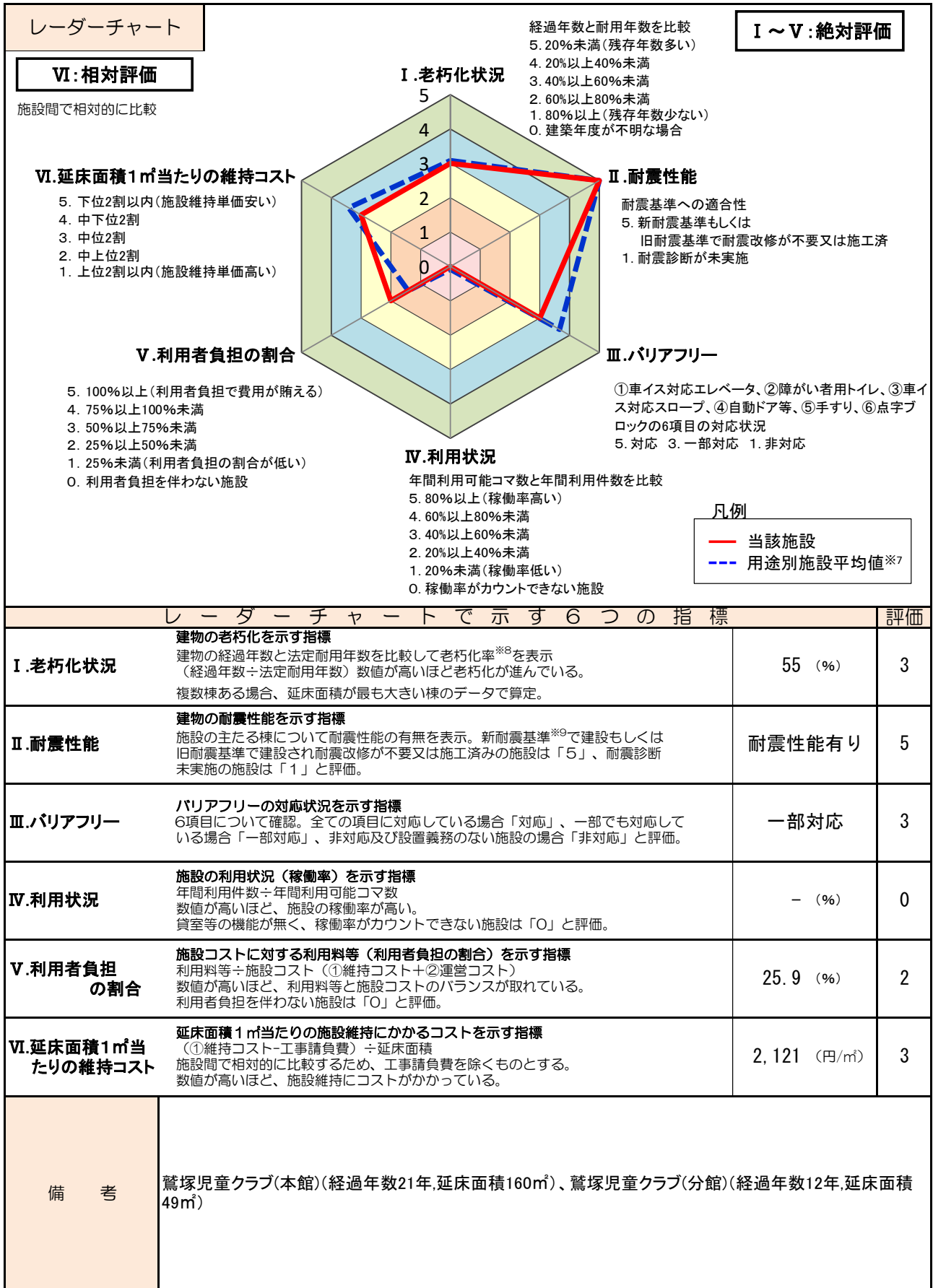
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	西端児童クラブ		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	62
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 上町3丁目1番地	敷地面積	394 ㎡
	(西端小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	西端児童クラブ、西端児童クラブ分館				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成10～平成19年度	経過年数	13～22年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	197 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態			
	66人		76人		62人		68人		指定管理(混合)			
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)					
	収 入	利用料等		3,635,924		支 出	人件費(賃金含)		-			
		国 費		-			修繕料		85,980			
		県 費		-			火災保険料		9,327			
		その他		32			維持管理委託料		323,742			
		市費(一般財源)		10,373,946			敷地借上料		-			
	合 計			14,009,902			工事請負費		-			
	施設外観				小 計			419,049				
					②運営コスト		人件費(賃金含)		11,525,349			
					光熱水費			362,210				
				その他委託料				-				
				その他運営費(事業費)			1,703,294					
				小 計			13,590,853					
				合 計(①+②)			14,009,902					
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4							
	206,028 円/人				71,116 円/㎡							
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6							
53,469 円/人				142 円/人								
特記事項												

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

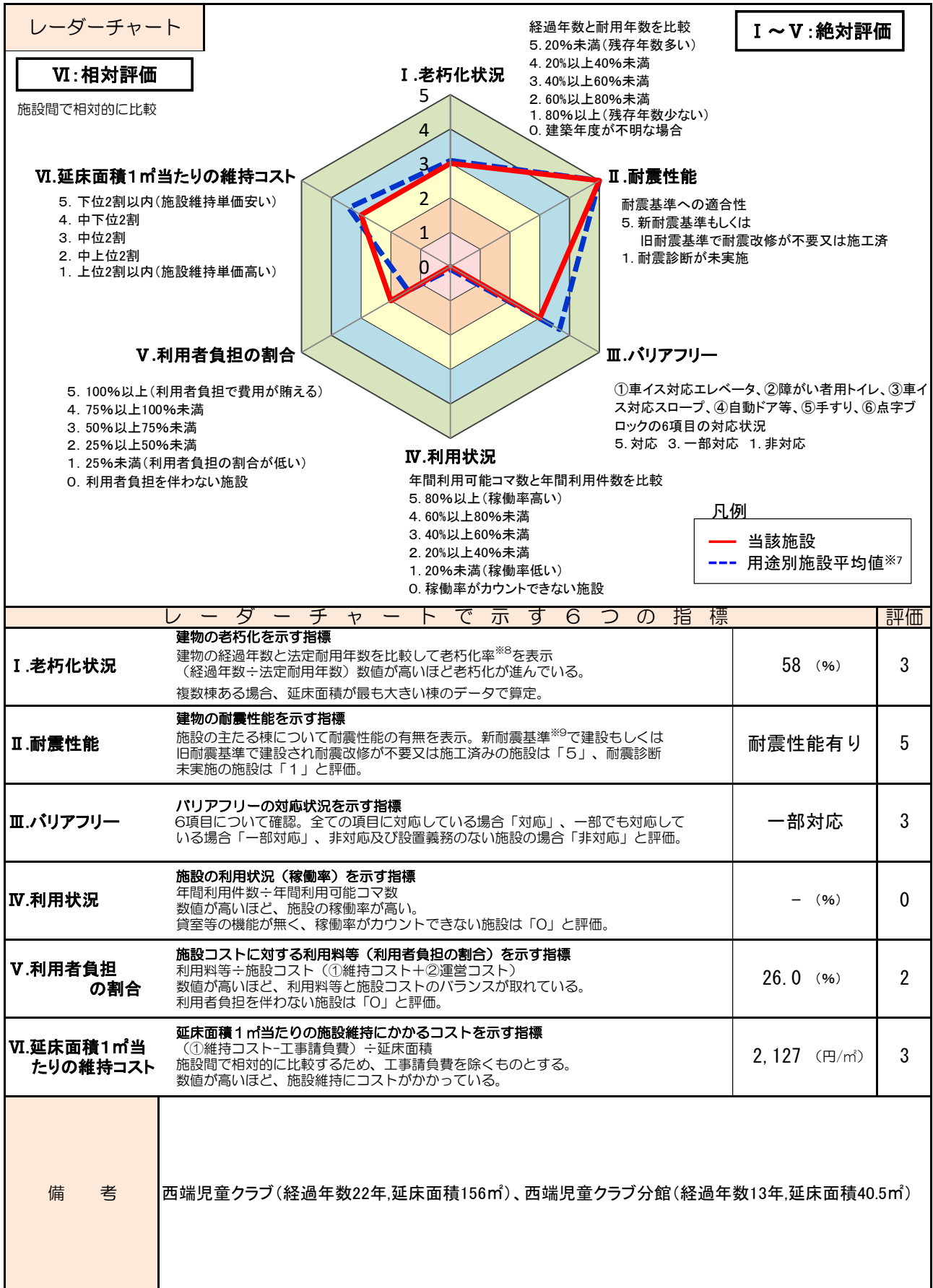
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	柵尾児童センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	柵尾公民館		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	63
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 汐田町2丁目28番地	敷地面積	- m ²
	(柵尾小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	柵尾児童センター				
複合・併設施設	柵尾公民館				
建築年度	平成10年度	経過年数	22年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	369 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	28,481 人		28,953 人		27,532 人		28,322 人		指定管理(管理料)		
施設コスト※2 (H29~R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国 費		-			修繕料	46,170			
		県 費		-			火災保険料	14,708			
		その他		18			維持管理委託料	-			
		市費(一般財源)		8,749,325			敷地借上料	-			
	合 計			8,749,343		工事請負費	-				
	施設外観				②運営コスト		小 計	60,878			
							人件費(賃金含)	8,355,952			
							光熱水費	-			
						その他委託料	244,646				
						その他運営費(事業費)	87,867				
						小 計	8,688,465				
						合 計(①+②)	8,749,343				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1m ² 当たりの施設コスト※4						
	309 円/人				23,711 円/m ²						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
				- 円/人				120 円/人			
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

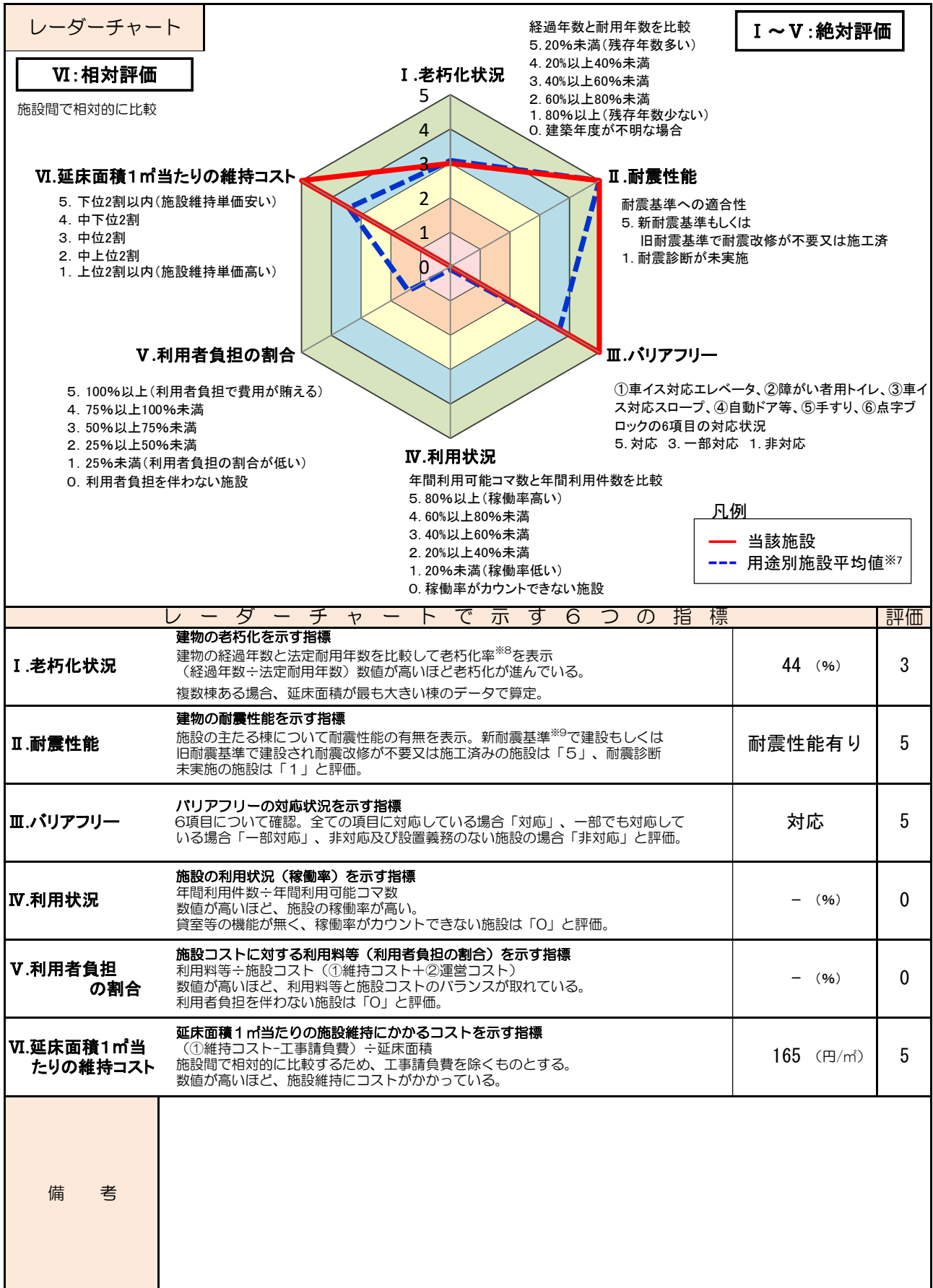
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	東部児童センター		
従たる施設の場合、主たる施設名	東部市民プラザ		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	64
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 照光町5丁目3番地	敷地面積	- m ²
	(鷲塚小学校区)	うち借地面積	- m ²

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	東部児童センター				
複合・併設施設	東部市民プラザ、高齢者元気ッス館				
建築年度	平成12年度	経過年数	20年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	314 m ²	うち借用面積	- m ²
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態	
	20,794 人		17,780 人		16,732 人		18,435 人		指定管理(管理料)	
施設コスト※2 (H29~R元年度) (ファシリティコスト)	収入	内 訳		金額(円)		支出	内 訳		金額(円)	
		利用料等			3,350		人件費(賃金含)			-
		国 費			-		修繕料			51,023
		県 費			-		火災保険料			45,294
		その他			4,689		維持管理委託料			-
	市費(一般財源)			9,622,622	敷地借上料				-	
	合計			9,630,661	工事請負費				-	
	施設外観				その他維持費				-	
	小計				小計				96,317	
	合計(①+②)				小計				9,534,344	
①維持コスト				合計(①+②)			9,630,661			
②運営コスト										
利用者1人当たりの施設コスト※3				利用者1人当たりの施設コスト※4						
522 円/人				30,671 円/m ²						
利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
- 円/人				131 円/人						
特記事項										

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

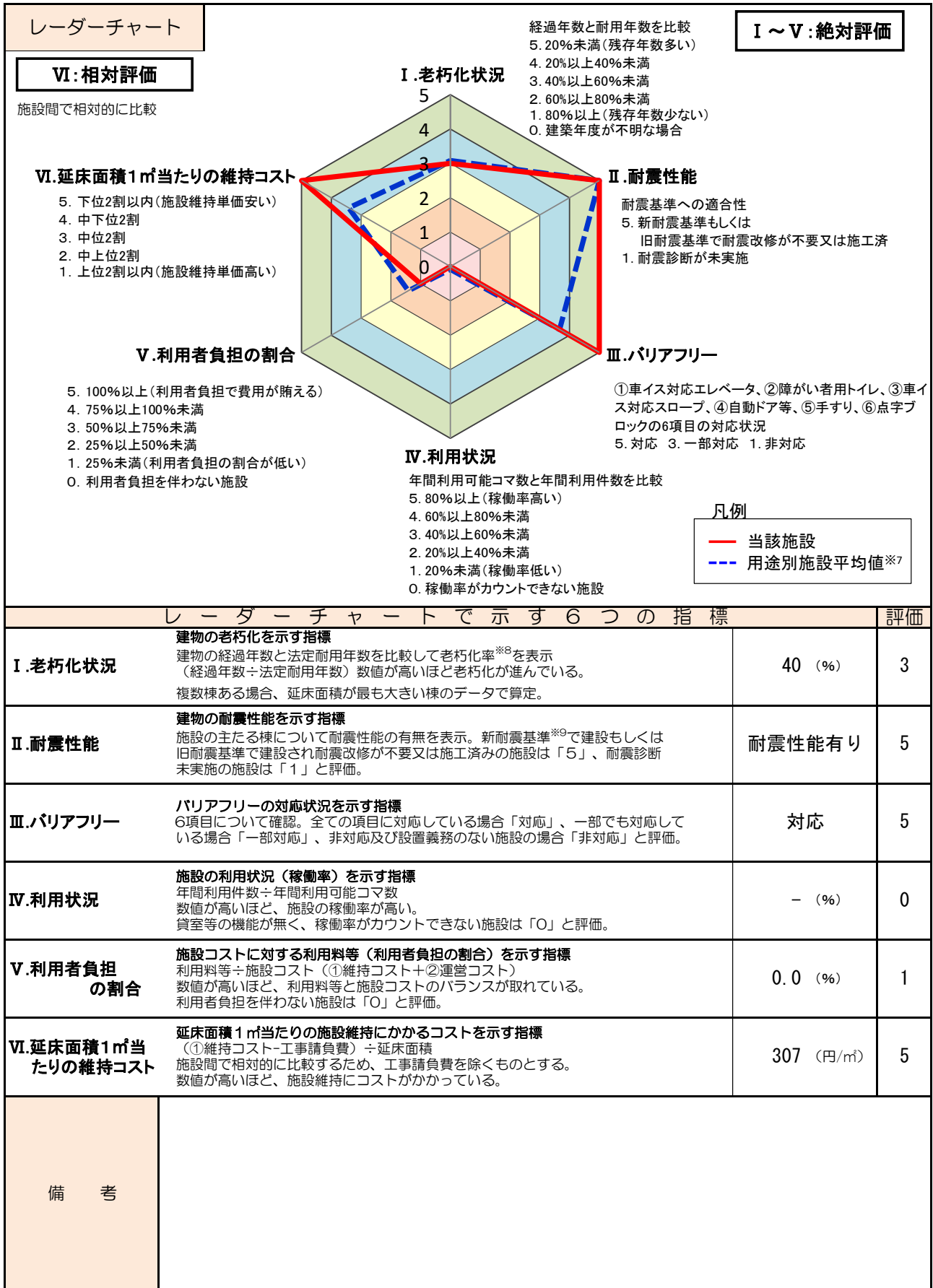
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1m²当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	こどもプラザららくるにしばた		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	65
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 三度山町2丁目53番地	敷地面積	1,868 ㎡
	(西端小学校区)	うち借地面積	1,013 ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	ららくるにしばた				
複合・併設施設	-				
建築年度	平成21年度	経過年数	11年	総取得費	-千円
建物構造	鉄筋コンクリート造	延床面積	660 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	2階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	31,942人		34,992人		28,746人		31,893人		指定管理(混合)		
施設コスト※2 (H29~R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		253,169		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国 費		-			修繕料	97,468			
		県 費		-			火災保険料	6,306			
		その他		48			維持管理委託料	2,903,249			
		市費(一般財源)		13,521,909			敷地借上料	1,084,070			
	合 計			13,775,126		工事請負費	-				
	施設外観				その他維持費	-					
					小 計	4,091,093					
					②運営コスト	人件費(賃金含)	7,748,075				
				光熱水費	-						
				その他委託料	-						
				その他運営費(事業費)	1,935,958						
				小 計	9,684,033						
				合 計(①+②)	13,775,126						
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	432 円/人				20,871 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
8 円/人				185 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

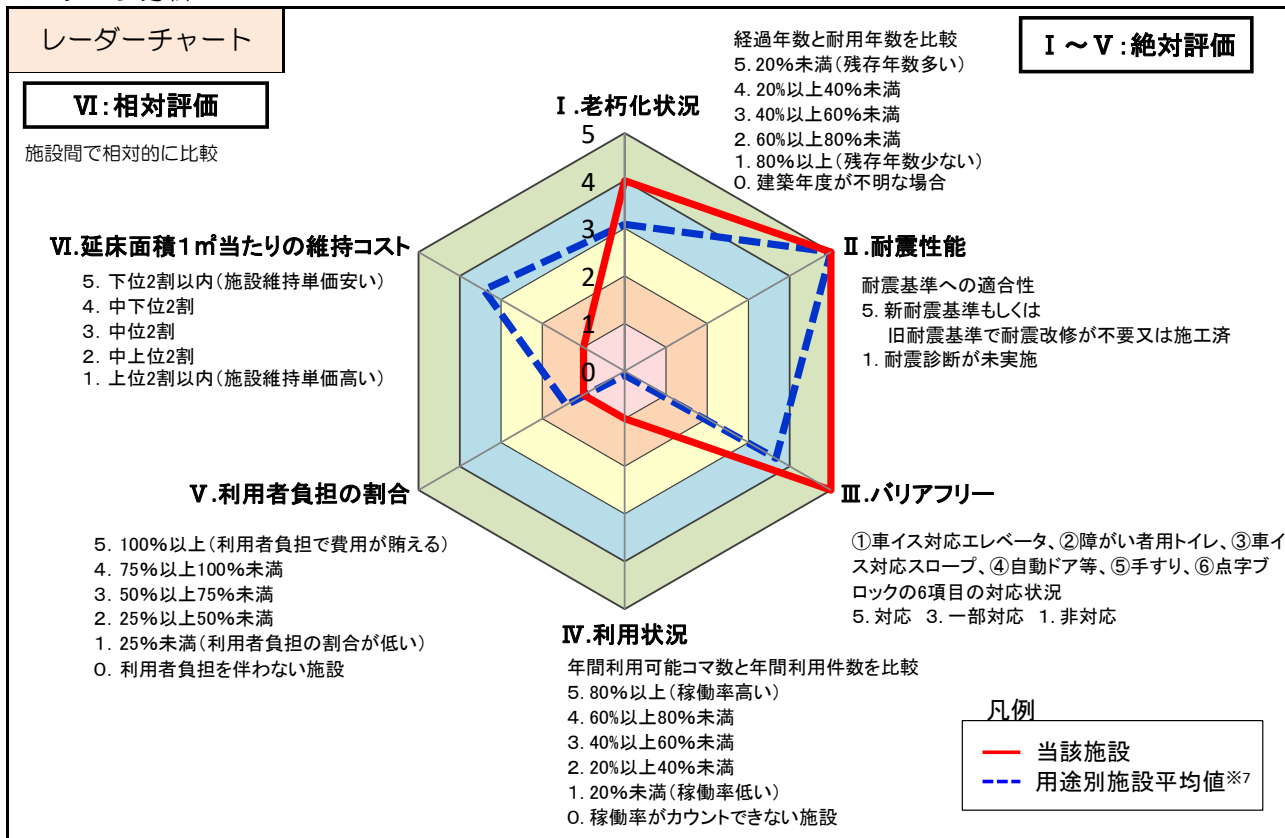
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標			評価
I. 老朽化状況	<p>建物の老朽化を示す指標</p> <p>建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。</p>	22 (%)	4
II. 耐震性能	<p>建物の耐震性能を示す指標</p> <p>施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。</p>	耐震性能有り	5
III. バリアフリー	<p>バリアフリーの対応状況を示す指標</p> <p>6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。</p>	対応	5
IV. 利用状況	<p>施設の利用状況(稼働率)を示す指標</p> <p>年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。</p>	11 (%)	1
V. 利用者負担の割合	<p>施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標</p> <p>利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。</p>	1.8 (%)	1
VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト	<p>延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標</p> <p>(①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。</p>	6,199 (円/㎡)	1
備考			

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	こどもプラザこころっしんかわ		
従たる施設の場合、主たる施設名	へきなん福祉センターあいくる		

大分類	子育て支援施設	中分類	幼児・児童施設	施設番号	66
-----	---------	-----	---------	------	----

所管部局	こども課
------	------

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 山神町8丁目35番地	敷地面積	- ㎡
	(新川小学校区)	うち借地面積	- ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	こころっしんかわ				
複合・併設施設	へきなん福祉センターあいくる、市民活動センター、心身障害者福祉センター				
建築年度	平成25年度	経過年数	7年	総取得費	- 千円
建物構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造	延床面積	548 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	- 階	階数(地下)	- 階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度	H30年度	令和元年度	平均利用者数	管理形態		
	39,921 人	42,188 人	35,971 人	39,360 人	指定管理(管理料)		
施設コスト※2 (H29~R元年度) (ファシリティコスト)	内 訳		金額(円)	内 訳			
	収 入	利用料等	16,367	支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-
		国 費	-		修繕料	129,647	
		県 費	-		火災保険料	1,794	
		その他	13		維持管理委託料	341,777	
		市費(一般財源)	13,115,817		敷地借上料	-	
	合 計		13,132,197	工事請負費	-		
	施設外観			その他維持費	-		
				小 計	473,218		
				②運営コスト	人件費(賃金含)	12,061,733	
			光熱水費	-			
			その他委託料	-			
			その他運営費(事業費)	597,246			
			小 計	12,658,979			
			合 計(①+②)	13,132,197			
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3		延床面積1㎡当たりの施設コスト※4				
	334 円/人		23,964 円/㎡				
	利用者1人当たりの負担額※5		市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6				
		- 円/人	179 円/人				
特記事項							

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

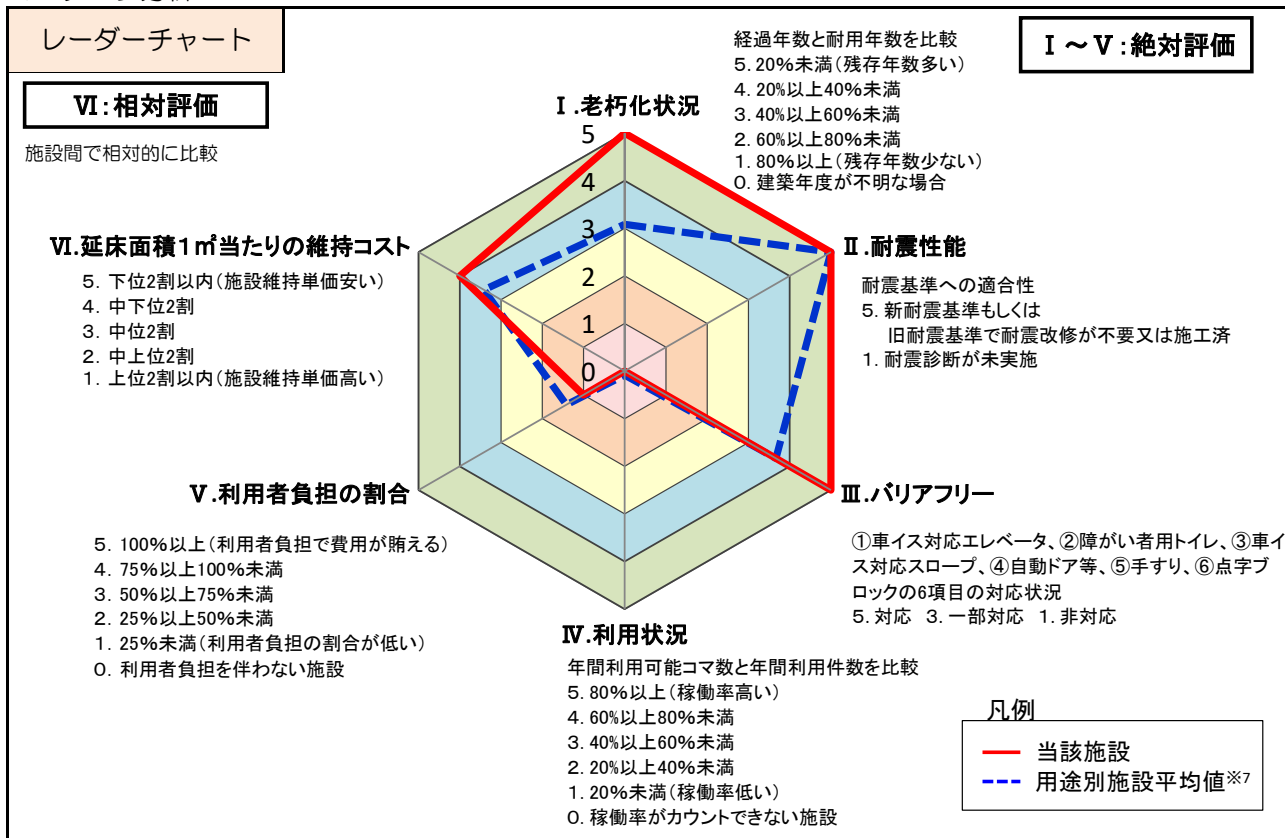
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標

		評価
I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示 (経過年数÷法定耐用年数) 数値が高いほど老朽化が進んでいる。 複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	14 (%) 5
II. 耐震性能	建物の耐震性能を示す指標 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
III. バリアフリー	バリアフリーの対応状況を示す指標 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	対応 5
IV. 利用状況	施設の利用状況(稼働率)を示す指標 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。 貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
V. 利用者負担の割合	施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。 利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	0.1 (%) 1
VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト	延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標 (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。 数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	864 (円/㎡) 4

備考

※7 用途別施設平均値：施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。

※8 老朽化率：建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。

※9 新耐震基準：昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。

碧南市公共施設カルテ

調査年度	令和2年度
------	-------

施設名	にじの学園		
従たる施設の場合、主たる施設名	-		

大分類	保健・福祉施設	中分類	児童福祉施設	施設番号	67
-----	---------	-----	--------	------	----

所管部局	福祉課
------	-----

1 土地データ

所在地 (小学校地区)	碧南市 宮町4丁目1番地2	敷地面積	1,366 ㎡
	(大浜小学校区)	うち借地面積	215 ㎡

2 建物データ (複数棟ある場合の建物構造は、延床面積が最も大きい棟のデータ。階数は最も高い棟のデータ。)

構成棟	作業所、自転車置き場、保育室				
複合・併設施設	-				
建築年度	昭和61～平成18年度	経過年数	14～34年	総取得費	-千円
建物構造	鉄骨造	延床面積	463 ㎡	うち借用面積	- ㎡
階数(地上)	1階	階数(地下)	-階	避難所指定	指定無し

3 管理運営データ

利用状況※1	H29年度		H30年度		令和元年度		平均利用者数		管理形態		
	26人		26人		24人		25人		直営		
施設コスト ※2 (H29～R元年度) (ファシリティコスト) ①維持コスト 建物を良好に保つ ために要する経費 + ②運営コスト 公共サービスを提供 するために要する 経費	内 訳		金額(円)		内 訳		金額(円)				
	収 入	利用料等		-		支 出	①維持コスト	人件費(賃金含)	-		
		国 費		-			修繕料	903,645			
		県 費		-			火災保険料	10,845			
		その他		-			維持管理委託料	1,039,421			
		市費(一般財源)		42,611,295			敷地借上料	213,201			
	合 計			42,611,295		工事請負費	1,306,440				
	施設外観						その他維持費	-			
							小 計	3,473,552			
							②運営コスト	人件費(賃金含)	29,023,889		
						光熱水費	948,030				
						その他委託料	5,917,387				
						その他運営費(事業費)	3,248,437				
						小 計	39,137,743				
						合 計(①+②)	42,611,295				
コスト状況	利用者1人当たりの施設コスト※3				延床面積1㎡当たりの施設コスト※4						
	1,704,452 円/人				92,033 円/㎡						
	利用者1人当たりの負担額※5				市費に対する住民1人当たりの負担相当額※6						
- 円/人				582 円/人							
特記事項											

※1 利用状況：人数は施設の年間延利用人数。学校・幼稚園・保育園・児童クラブ・にじの学園・碧南ふれあい作業所は在籍人数。市営住宅は入居戸数で記載。

※2 施設コストの収入・収支の各内訳は、3箇年の平均値。また施設コストの収入・収支の各計は、その平均値を合計しているため、年度毎の各計から算定した平均値とは異なる場合がある。

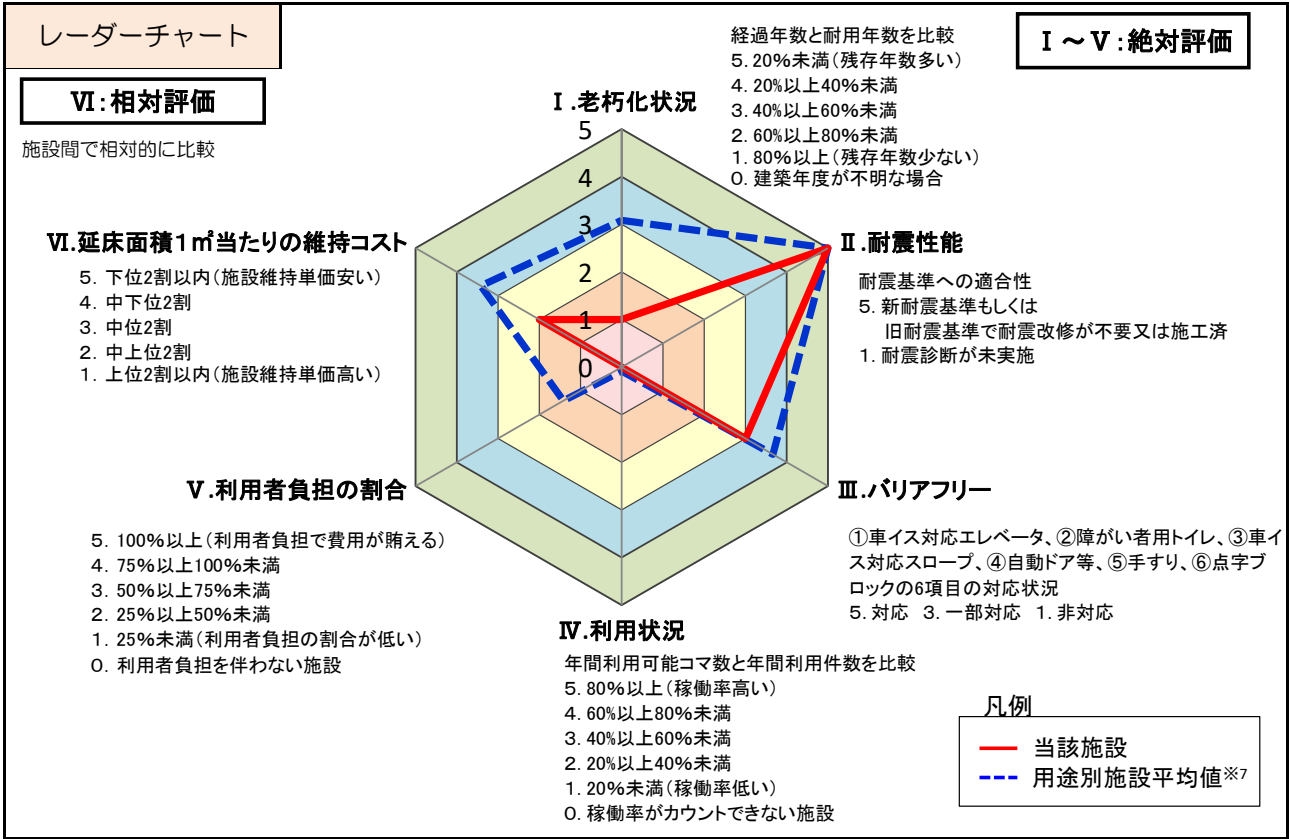
※3 利用者1人当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷平均利用者数

※4 延床面積1㎡当たりの施設コスト：施設コスト(①維持コスト+②運営コスト)÷延床面積

※5 利用者1人当たりの負担額：収入の利用料等÷平均利用者数

※6 市費に対する住民1人当たりの負担相当額：収入の市費(一般財源)÷人口(令和元年度4月1日現在の73,180人)

4 データ分析



レーダーチャートで示す6つの指標		評価
I. 老朽化状況	建物の老朽化を示す指標 建物の経過年数と法定耐用年数を比較して老朽化率※8を表示(経過年数÷法定耐用年数)数値が高いほど老朽化が進んでいる。複数棟ある場合、延床面積が最も大きい棟のデータで算定。	89 (%) 1
II. 耐震性能	建物の耐震性能を示す指標 施設の主たる棟について耐震性能の有無を表示。新耐震基準※9で建設もしくは旧耐震基準で建設され耐震改修が不要又は施工済みの施設は「5」、耐震診断未実施の施設は「1」と評価。	耐震性能有り 5
III. バリアフリー	バリアフリーの対応状況を示す指標 6項目について確認。全ての項目に対応している場合「対応」、一部でも対応している場合「一部対応」、非対応及び設置義務のない施設の場合「非対応」と評価。	一部対応 3
IV. 利用状況	施設の利用状況(稼働率)を示す指標 年間利用件数÷年間利用可能コマ数 数値が高いほど、施設の稼働率が高い。貸室等の機能が無く、稼働率がカウントできない施設は「0」と評価。	- (%) 0
V. 利用者負担の割合	施設コストに対する利用料等(利用者負担の割合)を示す指標 利用料等÷施設コスト(①維持コスト+②運営コスト) 数値が高いほど、利用料等と施設コストのバランスが取れている。利用者負担を伴わない施設は「0」と評価。	- (%) 0
VI. 延床面積1㎡当たりの維持コスト	延床面積1㎡当たりの施設維持にかかるコストを示す指標 (①維持コスト-工事請負費)÷延床面積 施設間で相対的に比較するため、工事請負費を除くものとする。数値が高いほど、施設維持にコストがかかっている。	4,681 (円/㎡) 2

備考

作業所(経過年数34年,延床面積341㎡)、自転車置き場(経過年数30年,延床面積12㎡)、保育室(経過年数14年,延床面積110㎡)

※7 用途別施設平均値:施設類型の中分類を基本とし、学校については小中学校別に分類したもの。
 ※8 老朽化率:建設からの経過年数を法定耐用年数(固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた耐用年数)で除した数。
 ※9 新耐震基準:昭和56年6月の建築基準法改正以降に建設された建物の耐震基準(マグニチュード8以上の大地震に対する耐震性が確保されている)のこと。改正以前の基準の建物は「旧耐震建築物」と呼ばれる。